

会員各位

(一社) 山口県臨床検査技師会

会長 檜林 秀記

災害関連研修会開催のお知らせ

— その時、私たちは臨床検査技師として何ができる？ —

清秋の候 皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は技師会活動に格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本は地震大国であり、幾度となく大きな地震が各地で発生しています。また、概ね100～150年間隔で繰り返す南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まっていると言われていています。日本臨床検査技師会は各都道府県技師会の災害体制構築や行政との協定も推進しており、また、災害対策本部で活躍できる臨床検査技師の育成を進めるなど、災害対策に力を入れており、災害時に臨床検査技師がすべきこと、できることを理解しておくことの重要性が高まっています。

このような背景を踏まえ、このたび、災害時における検査に焦点を当てた研修会を下記のごとく開催いたします。つきましては、多くの方々に参加して頂き、この研修会が実りあるものとなりますよう、会員の方々にご案内申し上げます。

記

開催日 令和7年2月9日(日)

会場 山口南総合センター

山口県山口市名田島1218番地1

募集人数 座学のみは人数制限なし

ハンズオン(実技):20名(詳細はその他を参照)

ハンズオン(見学):制限なし

※ハンズオンの内容は、下肢静脈エコー、弾性ストッキング着脱実習

※ハンズオンのみの参加は不可。

参加費 座学のみ 500円

座学+ハンズオン見学 1,000円

座学+ハンズオン実技 2,000円

申込期間 令和6年10月7日～12月15日

その他

- ・事前参加登録を必ず行ってください。当日参加登録は行いません。
- ・座学のみ参加の方は日臨技システムでの事前参加登録のみ行ってください。
- ・ハンズオンのみの参加はできません。午前中の座学も参加してください。
- ・ハンズオンの実技、見学に参加を希望する方は、以下のグーグルフォームにて、別途申し込んでください。(日臨技システムでの事前参加登録とグーグルフォーム両方の登録が必要)
- ・ハンズオンは1施設3名までとします。施設の代表者に取りまとめて入力してください。なお、申し込み多数の場合は調整し、施設当たりの参加者数を減らす可能性がありますので、入力フォームに従い優先順位を付けて申し込んでください。
- ・昼食の準備はありません。各自持参ください。(会場近くに店舗、食事処はありません)
- ・悪天候などで中止の場合は、山臨技HPにて当日早朝に掲示いたします。
- ・駐車場は数に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場ください。

ハンズオン申し込み 구글フォーム

URL : <https://forms.gle/baRuzxk99KM9NxEXA>

QR コード



タイムスケジュール

- 9 : 00 ~ 9 : 20 受付
- 9 : 20 ~ 9 : 30 開会式、オリエンテーション
- 9 : 30 ~ 10 : 30 座学 (各 20 分)
- 下肢静脈エコーについて
講師 吉木 正次 (済生会下関総合病院)
- 弾性ストッキングについて
講師 守田 みゆき (山口県立総合医療センター)
- POCT について
講師 未定 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)
- (休憩 10 分)
- 10 : 40 ~ 12 : 10 『未定』(災害に関する講演 (90 分))
講師 末永 利一郎 (総合病院山口赤十字病院)
- (昼休憩 40 分)
- 12 : 50 ~ 14 : 50 ハンズオン講習
- 下肢静脈エコー (1 グループ 5 名 1 時間)
講師 吉木 正次 (済生会下関総合病院)
講師 安岡 佳成 (済生会下関総合病院)
- 弾性ストッキング着脱 (10 名 1 時間)
講師 守田 みゆき (山口県立総合医療センター)
- 14 : 50 ~ 15 : 00 閉会式

以上